

2022年4月8日  
株式会社三菱UFJ銀行

## モルガン・スタンレーが組成する不動産私募ファンドによる 「横浜野村ビル」取得に係る「グリーンローン」を実行

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 <sup>はんざわ じゅんいち</sup> 半沢 淳一、以下「当行」）は、モルガン・スタンレー傘下の Morgan Stanley Real Estate Investing (MSREI) が組成するアジアに特化した不動産私募ファンドの出資により設立されたピーピーエフエー・ジャパン・シックス特定目的会社（取締役 <sup>なかもら たけし</sup> 中村 武、以下「同社」）に対し、グリーンビルディング（「横浜野村ビル」、以下「本物件」）の取得に係る「グリーンローン」でのノンリコースローン（以下「本ローン」）を実行いたしました。本ローンは、私募ファンドによる数少ないサステナブルファイナンスの事例です。同社は、モルガン・スタンレー・キャピタル株式会社（代表取締役 <sup>ばんどう とおる</sup> 板東 徹）及び野村不動産投資顧問株式会社（代表取締役社長 <sup>みうら こうき</sup> 三浦 公輝）がアセットマネージャーに就任しております。

モルガン・スタンレーは、米国に本拠を置く世界的な金融機関であり、金融業界のグローバル・リーダーとして、2022年までにカーボン・ニュートラルを実現すること、2050年までに投融資ポートフォリオの二酸化炭素ネット排出量をゼロにすることを宣言しており、持続可能な社会の実現に強くコミットしています。

また、野村不動産投資顧問株式会社は、野村不動産グループの一員として、不動産を投資対象とした資産運用事業を展開しております。中長期的な投資主価値の向上には、ESG への配慮が不可欠であるとの理念のもと、「サステナビリティ方針」を制定し、ESG への配慮を組み込んだ不動産投資運用業務の推進に努めています。

本物件は、神奈川県横浜市西区みなとみらいに所在するオフィスビルで、発電機の廃熱を空調に利用し省エネルギー効率に優れた「コージェネレーションシステム」の導入等の高い環境性能を有し、グリーンビルディング認証を取得しております。本ローンは、野村不動産投資顧問株式会社並びにモルガン・スタンレー・キャピタル株式会社が定めた同社のグリーンローン・フレームワークに則り、十分な環境改善効果が見込まれ、且つ、環境面・社会面における潜在的にネガティブな影響への配慮がなされているプロジェクトとして、グローバルな第三者評価機関である Sustainalytics よりセカンドパーティオピニオンを取得しており、「グリーンローン原則」に準拠していることを確認しております。

### <本ローンの概要>

貸出実行日	2021年5月14日及び2022年4月8日
貸出金額	364億円（内、グリーンローン183億円）
資金用途	グリーンビルディング取得資金
貸出人	株式会社三菱UFJ銀行

<本物件概要>

物件名称	横浜野村ビル
所在地	神奈川県横浜市西区みなとみらい四丁目4番1号
主要用途	オフィス
敷地面積／延床面積	8,962.40 m <sup>2</sup> ／78,152.93 m <sup>2</sup>
環境認証	CASBEE 不動産認証 S ランク (2022年2月時点) LEED (BD+C) Gold (2022年2月時点)



写真提供：株式会社エスエス

本物件（横浜野村ビル）

[1] グリーンローンフレームワークは以下のリンクをご参照下さい。

<https://www.morganstanley.com/cstk/temporary-file-links/corp-com/220405/msc-2022-04.pdf>

以 上